



2021年5月6日

各位

会社名 株式会社フライングガーデン
代表者名 代表取締役社長 野沢八千万
(JASDAQ・コード 3317)
問合せ先 常務取締役 片柳紀之
営業支援本部長
(TEL: 0285-30-4129)

営業外収益、特別損失の計上及び
2021年3月期業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2021年3月期第4四半期会計期間において、営業外収益及び特別損失を計上しました。また、2020年11月9日に公表いたしました2021年3月期の通期業績予想と実績値との間に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外収益及び特別損失の計上について

2021年3月期第4四半期会計期間において、従業員への休業補償に伴う雇用調整助成金及び時短営業に伴う協力金等117百万円を助成金収入として営業外収益に計上いたします。また、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、保有する固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、将来キャッシュ・フローがマイナスと見込まれる8店舗につきまして78百万円の減損損失を特別損失に計上いたします。

2. 業績予想と実績値の差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,720	△60	△20	△50	△34.60
実績数値 (B)	5,993	149	292	111	77.30
増減額 (B - A)	273	209	312	161	—
増減率 (%)	4.8	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	7,031	105	144	91	63.55

3. 通期業績予想との差異の理由

2021年3月期の売上につきましては、1月の緊急事態宣言の2度目の発出による時短営業があったものの、10月のテレビ放映により12月まで大幅に来客数が増加したことにより、計画を上回りました。

利益面では、原価及び固定費の削減などすべての経費の見直しに努めたこと、上記助成金収入を営業外収益に計上したことなどにより計画を大幅に上回りました。

以 上